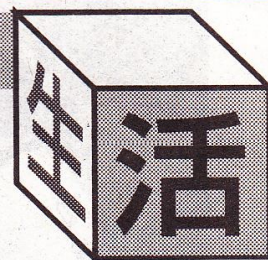


©東京新聞



百歳以上の高齢者を「センチナリアン」と呼びます。日本には約五万人が生存するとの



100歳以上の高齢者

推計があります。人口十万人当たり三十五人で、世界で最も割合が高いとされます。かつては名古屋のきんさんぎんさんが有名でしたが、最近はその娘さんも高齢姉妹としてテレビに出演しています。やはり、長寿の傾向は遺伝するのでしょうか。

Jさんは沖縄出身の百二歳です。足を骨折してから多少歩行が困難になりましたが、歩行器などは使っていません。記憶も保たれ、意思の疎通も十分できます。食事は肉類を好み、昔は泡盛をたくさん飲んだそうです。

## 「40歳超で出産」とも相関

英国の研究では、センチナリアンは遺伝する傾向が強く、種々の外的ストレスに対応できる遺伝子を持っているようです。15%ほどの方は大きな病気もせず、認知機能も保たれたまま天寿を全うするといわれています。

大半が女性で、中でも四十歳以上で出産した経験のある女性は、他の女性とくらべ百歳まで生きる可能性が高いことがわかっていました。高齢出産は、それだけ身体能力が高いこ



100歳を超えるお年寄りを診察する

とを示すのです。男性は例外なくやせています。男女ともよくよしない外交的な性格の方が多いようです。

当院で在宅診療を受けたセンチナリアンの患者六人を見ると、女性五人で、年齢の中央値は百一歳でした。うち、老衰のために診療を開始した二人を自宅で見とりました。

では、百歳以上の方は診療を始めてから、あとどのくらい生きられるのでしょうか。診療開始からの生存期間は中央値で三十五日ですが、長い方では二年以上診療を続けている方もいます。(川崎高津診療所院長)

掲載  
|| 次回は九月十八日